

景観アドバイザー制度の成果 事例② 「八ヶ岳南麓風景街道」

- 八ヶ岳南麓風景街道は、「自然と美しく共生するふれあいの道、感動の道、やさしい道」をコンセプトとする取り組み。
- 地域のNPO、民間団体を主体として、北杜市・山梨県が参加。
- ワークショップ2回を含め、景観アドバイザーを5回派遣。
- 官民協働のモデルケースであり、北杜市の景観計画策定の牽引的取り組みとなった。



【H22.7.15 ワークショップの実施状況】

■八ヶ岳南麓風景街道のシーニックデッキが出来ました

良い景観の道路があっても、景色を横目で見ながら通り過ぎるだけでは不十分ではないでしょうか。場合によっては単発運転や、路上に車を停めての写真撮影など、安全上の問題が無いとは言えません。

当会では、北海道で実施されて好評の「シーニックデッキ」に決まりました。景観の良い場所に、安全に車を止められる駐車スペースを設け、そこにウッドデッキを設置して、景色を楽しんだり、写真を撮ったりできるちょっとした休息場所です。

場所の選定に当たっては、牧草地を管理するキープ協会、道路管理者の山梨県、それぞれのご理解とご協力をいただき、清原高原道路沿いの牧草地の向こうに八ヶ岳が見える景観の場所に決まりました。清原高原大橋を渡り 橋風方面に登っていくと登坂車線が始まりますが、その登坂車線が終わって直ぐ右側に小さな駐車帯が現れます。そこに車を止めると、シーニックデッキにいく小道が続いています。



シーニックデッキからの眺め

デッキは、私たち八ヶ岳南麓風景街道の会による手作りです。パートナーシップの一角であり道路管理者である、山梨県と北杜市の協力をいただきながら完成にこぎ着けました。

八ヶ岳を訪れる皆さんに、八ヶ岳の風景の素晴らしさを知っていただく、一つのポイントになってくれることを祈っています。雨の降れば遊びきたり、時には草などの野生動物にも会えるかも知れません。オープンしたばかりのシーニックデッキで、八ヶ岳と牧草地の雄大な景色を楽しんで下さい。



デッキの木材は 黒松材を使いました

- お願い
- ・ 駐車帯の出入りの安全にご注意ください。
 - ・ びとの投げ捨て、フンス塗り 履き等、マナー違反はご遠慮ください。
 - ・ 多くの方に利用していただくため、長時間の駐車はご遠慮ください。

■山梨県の広報番組で紹介されました



シーニックデッキは私たちの手作りです

【風景街道の活動事例(広報誌「SCENE8」より)】

高原大橋駐車場の補塗り直し ペンキ塗りボランティア募集

景観に配慮した活動のひとつとして、八ヶ岳南麓風景街道の車を茶色に塗り替えます。世界に誇れる八ヶ岳の山並み景観、特に清原高原道路からの眺望はすばらしいです。景観改修のため、昨年、清原高原道路のガードレールは、白から茶色のハイパスガードに変更されました。しかし、駐車場の欄干の茶色の剥落です。一度の景観づくりを目指して、みんなが茶色に塗り替えませんか？ 是非ご参加ください。

日時 11月18日(水) 10:00~12:00
雨天延期(予備日 11/19 or 11/25)
場 所 八ヶ岳高原大橋(黄色い橋)東側駐車場(清原高原道路)
持ち物 手袋(厚手、ゴム手など) ※汚れても良い服装でご参加ください。
問合せ 電話 0551-32-5319 (テックトップ 清水) まで。
※定員なし。道具の準備のため、事前にお申し込みを。
※雨天延期の判断は、11/18、9:00以後、問合せ先まで電話を。



清原高原道路を走る「八ヶ岳南麓風景街道」は、良好な景観の「日本風景街道(国土交通省)に登録されています。

主催 八ヶ岳南麓風景街道の会

八ヶ岳南麓風景街道の会は、八ヶ岳南麓風景街道の活動を通じて、民間と行政(県、山梨県、北杜市)のパートナーシップです。詳しくは会会のホームページ、ブログをご覧ください。

<http://yatsugatake-fukei.net/> <http://yatsu-fukei.jugem.jp/>



一列になつて欄干を手際よく塗り替えるボランティア

防護柵をペイント ボランティアの協力で実施

八ヶ岳南麓風景街道の会が、11月18日(水)に実施した「八ヶ岳南麓風景街道の防護柵のペイントボランティア」は、景観改修の一環として、清原高原道路のガードレールを白から茶色のハイパスガードに変更しました。しかし、駐車場の欄干の茶色の剥落です。一度の景観づくりを目指して、みんなが茶色に塗り替えませんか？ 是非ご参加ください。

この計画は、八ヶ岳南麓風景街道の会の一環として、清原高原道路のガードレールを白から茶色のハイパスガードに変更しました。しかし、駐車場の欄干の茶色の剥落です。一度の景観づくりを目指して、みんなが茶色に塗り替えませんか？ 是非ご参加ください。

約四十人が駐車場の周囲の防護柵のペイント作業を行いました。ボランティアの協力により、景観改修の一環として、清原高原道路のガードレールを白から茶色のハイパスガードに変更しました。しかし、駐車場の欄干の茶色の剥落です。一度の景観づくりを目指して、みんなが茶色に塗り替えませんか？ 是非ご参加ください。

【H22.12.1 八ヶ岳ジャーナル掲載】

【ワークショップの結果を受けて実施されたボランティア活動】

北杜市・八ヶ岳高原大橋駐車場 防護柵 茶色にお色直し

風景街道の会 景観配慮で実践
「八ヶ岳南麓風景街道の会」が、たどったと感想。委員代表(桑田寛子)は「活動が景観に対する意識の向上につながればと思う。八ヶ岳南麓風景街道の会と話し合っていた。関係した取り組みの一端で、防護柵の塗り替えを行った。景観改修の一環として、清原高原道路のガードレールを白から茶色のハイパスガードに変更されたものの、同駐車場の防護柵が白のままだったため、景観に合わせるようにしたい」と企画、同会のメンバーら約35人が参加し、防護柵を茶色に塗り替えた。写真。田府市から参加した坂本真子さん(33)は「周辺を綺麗がうれしくてきれいになり、やってみて良かった」。

「八ヶ岳南麓風景街道の会」が、たどったと感想。委員代表(桑田寛子)は「活動が景観に対する意識の向上につながればと思う。八ヶ岳南麓風景街道の会と話し合っていた。関係した取り組みの一端で、防護柵の塗り替えを行った。景観改修の一環として、清原高原道路のガードレールを白から茶色のハイパスガードに変更されたものの、同駐車場の防護柵が白のままだったため、景観に合わせるようにしたい」と企画、同会のメンバーら約35人が参加し、防護柵を茶色に塗り替えた。写真。田府市から参加した坂本真子さん(33)は「周辺を綺麗がうれしくてきれいになり、やってみて良かった」。

【H22.11.28 山梨日日新聞 朝刊掲載】



【塗り替え前】



【塗り替え後】